第139号　　平成22年(2010) 8月1日

市議会だより

かかみがはら

発行
各務原市議会
岐阜県各務原市那加桜町1-69
電話058-383-2001
編集
市議会だより編集委員会

蘇原保育所の夏まつり（７月９日）

６月定例会

主な議案説明、審議結果	2
委員会審査	4
委員会調査報告	5
市政を問う　一般質問	
平和の日制定２０年	6
より高度な救命活動を	7
東海中央病院の体制充実を	8
企業広告による経費削減	9
市議会とは	10
市民の声、議会素描	12

（仮称）各務原大橋上部工工事

18億5430万円で着工へ

平成22年第2回定例会（6月定例会）を6月7日から6月30日の24日間の会期で開催しました。

今期定例会に市長から提出された議案は、（仮称）各務原大橋建設工事をはじめとする22案件で、委員会、本会議を経て、いずれも原案のとおり承認・可決・同意しました。

第2回定例会に市長から提出された議案は、
・専決処分の承認　3件
・予算の補正　2件
・人事の案件　2件
・条例の改正　7件
・工事請負契約の締結・変更　5件
・市道路線の認定・廃止　3件
の合計22案件です。

主な議案内容は、次のとおりです。

工事請負契約

○（仮称）各務原大橋上部工工事

一般競争入札により、18億5430万円で清水・前田特定建設工事共同企業体と工事請負契約を締結するものです。

（仮称）各務原大橋の完成予想図

○（仮称）各務原大橋下部工工事（その3）

一般競争入札により、7億3710万円で大日本・市川・後藤特定建設工事共同企業体と工事請負契約を締結するものです。

○（仮称）各務原大橋下部工工事（その1）

大林・市川・横建特定建設工事共同企業体との工事請負契約の金額を8億5344万円から9億5790万1350円に変更するものです。

○稲羽東小学校屋内運動場改築工事（建築）

一般競争入札により、1億9005万円で、足立・左髙特定建設工事共同企業体と工事請負契約を締結するものです。

稲羽東小学校屋内運動場の完成予想図

○蘇原第一小学校校舎増築併行防音工事（建築）

一般競争入札により、1億7031万円で、天龍・イトー特定建設工事共同企業体と工事請負契約を締結するものです。

22年度補正予算

一般会計補正予算（第1号）

岐阜鵜沼線街路事業に伴い、用水の申子（さるこ）揚水機場改良事業をはじめ、ナショナルトレーニングセンター事業など、当面の行政需要に対応するため、歳入歳出予算の補正を行うものです。

○歳入の主なもの
・国庫支出金　1464万4千円
・繰越金　3042万4千円
・諸収入　865万5千円

○歳出の主なもの
・申子揚水機場改良事業費　950万円
・ナショナルトレーニングセンター事業費　1464万4千円

この結果、22年度一般会計の予算規模は、53億72万3千円を追加し、補正後の予算総額は429億2372万3千円となります。

その他の議案

体育施設条例の一部改正

鵜沼各務原町の各務野運動場を廃止するものです。

審　議　結　果

（6月定例会）

○農業委員会委員の推薦
（坂井利彦氏、横山裕氏、長縄學氏、岩田英稔氏）・・・・・・・・・推　　薦
○木曽川右岸地帯水防事務組合議会議員の選挙
（五島次郎氏、尾関光政氏、足立孝夫氏）・・・・・・・・・・・・・・当　　選
○専決処分の承認（21年度一般会計補正予算（第6号））・・・・・・原案承認・全会一致
○専決処分の承認（市税条例の一部を改正する条例）・・・・・・・・原案承認・全会一致
○専決処分の承認（国民健康保険条例の一部を改正する条例）・・・・原案承認・賛成多数
○22年度一般会計補正予算（第1号）・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決・全会一致
○22年度老人保健特別会計補正予算（第1号）・・・・・・・・・・・・原案可決・全会一致
○教育委員会委員の任命（榎本行雄氏）・・・・・・・・・・・・・・・原案同意・全会一致
○人権擁護委員候補者の推薦（浅野妙子氏）・・・・・・・・・・・・・原案同意・全会一致
○市税条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決・賛成多数
○職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例・・・・・・・原案可決・全会一致
○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例・・・・原案可決・全会一致
○国民健康保険条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・・・・・原案可決・全会一致
○火災予防条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決・全会一致
○手数料条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決・全会一致
○体育施設条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決・全会一致
○工事請負契約の締結（（仮称）各務原大橋上部工工事）・・・・・・・原案同意・賛成多数
○工事請負契約の締結（（仮称）各務原大橋下部工工事（その3））・・原案同意・全会一致
○工事請負契約の変更（（仮称）各務原大橋下部工工事（その1））・・原案同意・賛成多数
○市道路線の認定（市道鵜1329号線ほか2路線）・・・・・・・・・・原案可決・全会一致
○市道路線の廃止及び認定（市道各125号線ほか1路線）・・・・・・原案可決・全会一致
○市道路線の廃止（市道稲225号線ほか1路線）・・・・・・・・・・原案可決・全会一致
○工事請負契約の締結
（稲羽東小学校屋内運動場改築工事（建築））・・・・・・・・・・・・原案同意・全会一致
○工事請負契約の締結
（蘇原第一小学校校舎増築併行防音工事（建築））・・・・・・・・・原案同意・全会一致
○子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願・・・・・・・不採択・賛成少数
○細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化の早期実現
を求める請願・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・不採択・賛成少数
○所得税法56条の廃止をもとめる請願・・・・・・・・・・・・・・・不採択・賛成少数
○国民健康保険料の引き下げなどを求める請願・・・・・・・・・・・不採択・賛成少数

委員会審査

今期定例会で常任委員会に審査の付託をした議案について、6月24日・25日の2日間、常任委員会を開催し、審査を行いました。
各常任委員会の主な質疑内容は次のとおりです。

総務常任委員会

工事請負契約の締結（（仮称）各務原大橋上部工工事）

▼質疑　業者が低価格で落札した理由は。

▽答　他で9件の橋の上部工工事をしているため、材料をまとめて購入できることや、必要な機械や仮設材で、保有物を使用できるなどの理由からである。

（仮称）各務原大橋建設現場

工事請負契約の変更（（仮称）各務原大橋下部工工事（その1））

▼質疑　橋脚工事で行われたボーリング調査は3カ所で十分だと考えるか。

▽答　調査個所は、標準的な場所と数で行っており、足らないということはない。

民生消防常任委員会

22年度一般会計補正予算（所管分）

▼質疑　シルバーサロン事業とは何か。

▽答　高齢者が豊かな経験を生かし、若い世代と交流しながら就業する場や、喫茶店などを設け、交流の場とする市民サロンの開設を計画している。
　さらに、高齢者向け講座の開催、北清掃センターに持ち込まれた家具を再生し、販売する事業を計画している。
　場所については空き店舗を予定している。

▼質疑　シルバーサロン事業の総事業費は。

▽答　市からの補助金300万円と国の補助金、シルバー人材センターの自己資金を合わせ、総事業費900万円を予定している。

▼質疑　再生可能な家具はどれくらいと見込んでいるのか。

▽答　北清掃センターに直接持ち込まれ、再生可能と思われるものは月20個ほどある。

▼質疑　家具の再利用によって、地区の不燃物分別方法に変更はあるのか。

▽答　北清掃センターに直接持ち込まれる家具を予定しており、地域の分別方法は変わらない。

▼質疑　自転車などは再利用の対象とせず、家具だけとしたのはなぜか。

▽答　製造物責任法の対象となるため、けがの危険が少ない家具の再生からはじめる。

一時保管され再生を待つ家具

経済教育常任委員会

22年度一般会計補正予算（所管分）

▼質疑　グリーンスタジアムにあるナショナルトレーニングセンターで、今まで機械器具の整備に要した金額は。

▽答　総額で1011万7295円をかけている。

▼質疑　今回の補正はすべて機械器具に充てるのか。

▽答　消耗品なども入っているが、機械器具としては約1386万円ほどを予定している。

▼質疑　機械器具の購入は、国からの委託事業だが、機種はすべて国の指定により調達するのか。

▽答　年度当初にJOCや日本ホッケー協会と協議しており、必要な機器の意見を聞いたうえで実施計画を作成している。
　それに基づいて文部科学省に申請し、市で購入している。

建設水道常任委員会

市道路線の廃止

▼質疑　羽島用水の地中化に伴う路線の廃止だが、付近の住民が出入りに困るようなことはないのか。

▽答　廃止する道路は羽島用水の南側の道で、土手のようになっている。
　実際に道路として出入りはなく、廃止しても影響はないと考える。

委員会調査報告

民生消防常任委員会

〈期間〉5月18日～20日

○兵庫県姫路市

「すこやかセンター」

14年に開設したすこやかセンターを視察した。

子どもから高齢者まで、幅広い世代の人たちが利用できる施設として注目を集めている。

特に力を入れている事業として、ファミリーサポートセンター事業があげられる。

この事業は、育児の援助を受けたい人と育児のサポートをしたい人が会員登録し、会員相互間で育児の援助を行うもので、21年度には5237回の支援活動が行われた。

子育て中の親にとっては心強いサポートとなる事業であり、今後の参考になる取り組みであった。

○兵庫県豊岡市

「環境経済戦略」

日本で最後の野生コウノトリの生息地として知られ、コウノトリを保護・繁殖し、野生復帰事業を推進している。

コウノトリ

また、16年度に「環境経済戦略」を策定し、コウノトリが生息していけるような環境づくりを地域活性化につなぐ「環境と経済の共鳴」を提唱しており、その取り組みの一例として、農薬・化学肥料の不使用・低減、水田の冬期湛水（たんすい）などを行う「コウノトリ育む農法」を推奨している。

この農法で生産された米を市の独自ブランド「コウノトリの舞」として認定し、安全・安心を強みとする農産物を市場に供給している。

コウノトリ文化館にて（豊岡市）

○京都府綾部市

「幼保一元化」

視察した中筋（なかすじ）幼児園では、保育所と幼稚園双方の要素を取り入れ、均一で質の高い保育及び教育を提供している。

また、開園時間は午前7時から午後7時までの12時間で、春・夏・冬の長期休暇や土曜日も開園し、保護者のさまざまな就労条件による保育時間の選択を可能にしている。

経済教育常任委員会

《期間》5月26日～28日

○大分県別府市

「学力向上の取り組み」

今年度、学力向上推進計画を策定しており、小学3・4年生、中学1年生を対象とした市独自の学力調査の実施や、教師の授業力向上を目的とした研究授業の積極的な導入を行っている。

また、各学校に支援員を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒にきめ細かな個別指導を行っており、乱暴だった子が穏やかになったなどの事例が紹介された。

本市も同様の取り組みを行っており、今後も教育支援の充実に努めたい。

説明を受ける委員（別府市）

○大分県豊後高田市

「教育のまちづくり」

全国で脚光を浴びている「学びの21世紀塾」の特色ある取り組みを視察した。

寺子屋講座では英会話やそろばんなどのほか、中学3年生を対象とした夏季・冬季特別講座がある。

この特別講座は市内対象者の8割が受講するほどの盛況ぶりで、教員退職者や、塾経営者など進学指導のベテランが指導する非常に珍しい取り組みである。

また、高校入試に備えた取り組みでは、現役教師がケーブルテレビを通して指導する「テレビ寺子屋講座」を行っており、遠隔地でも同じように講座を受講できるのが魅力である。

本市とは、規模や地域性は違うが、参考にすべき取り組みが多数あった。

○佐賀県鳥栖市

「企業誘致」

企業誘致策として、進出企業に対し、企業立地奨励金やISO認証取得等奨励金、雇用奨励金などの優遇措置を導入している。

また、アジアを視野に入れた「物流拠点都市」として、福岡市をはじめ県境を越えた都市と連携してPR活動を行っており、これらの積極的な企業誘致事業は、ぜひ参考にすべき取り組みである。

市政を問う
一般質問

6月21日、22日の2日間、一般質問を行いました。質問をした議員は次のとおりです。（発言順）

尾関光政、水野岳男、永冶明子、高島貴美子、杉山元則、三和由紀、横山富士雄、波多野こうめ、川嶋一生、今尾泰造

平和の日制定から20年
「平和へのメッセージ」を募集

▼問　各務原空襲のあった6月22日を平和の日と制定しているが、どのような取り組みを行っているのか。

▽答　市民からの折鶴の募集や小学生による平和の折り鶴使節団の広島平和記念公園への派遣、平和の日の黙とうなど、さまざまな取り組みを行っている。

▼問　戦争の記憶を風化させないためにどんな取り組みを行っているのか。

▽答　平和の日制定20年の節目に当たる今年は、子どもたちから日ごろの身近な平和への取り組みや、平和への思いを込めた「平和へのメッセージ」を募集している。

集まったメッセージは、平和の折り鶴使節団により、広島平和記念公園へ奉納される。

▼問　小中学校では、平和を考える教育をどのようにに行っているのか。

▽答　国語・社会・総合的な学習の時間などで取り上げている。

また、平和の日には校長などが全校の児童生徒に各務原空襲の話をしている。

給食ではすいとんなどを食べ、当時のことを考える機会としている。

平和の日の学校給食献立

情報セキュリティ

▼問　情報化を推進する基本的な考え方は。

▽答　ホームページでの情報提供や市民提言などの情報窓口の充実、住民票などの自動交付機の設置など市民の利便性の向上を図ってきた。

今後も情報通信技術を活用した施策を展開していく。

▼問　行政情報のセキュリティ方針とその対策は。

▽答　15年にセキュリティポリシーを策定し、適切な情報管理を行っている。

情報の流出、ソフト・ハードの誤作動、人為的なミスなどを未然に防止し、より高い情報セキュリティを確保するため、研修などを通しマンパワーの向上を図っていく。

結婚相談所

▼問　市が設置している結婚相談所の利用状況は。

▽答　結婚相談所は、産業文化センターの5階に設置し、水曜日と土曜日の週2回、午前9時半から午後3時まで開設している。

現在、男性194人、女性78人の方が登録している。

▼問　未婚化が進む中、婚活に対してどう取り組んでいくのか。

▽答　登録者の増加を図るため、広報紙・ホームページなどで結婚相談所のPRに努め、より充実した相談体制を図っていきたい。

▼問　婚活イベントを行う考えはないか。

▽答　過去に「ハッピーデート」などの集団見合いを実施していたが、参加者が少なく、取りやめた経緯がある。

最近は民間の結婚紹介活動も活発で、公的機関の役割は薄れてきていると考えており、今後も婚活イベントの実施は予定していない。

婚活を支える結婚相談所

より高度な救命活動を
救急救命士36名体制を目標

▼問　高規格救急車の配備に伴い、救急救命士の常時乗車を進めている。20年に24名となった救急救命士を何人まで増やす必要があると考えるか。

▽答　救急救命士をはじめ救急隊員の応急処置範囲は今後も拡大され、より高度な救命活動が必要になる。

当面、救急救命士の有資格者36名を目標としている。

▼問　高度な救急体制を整えることにより、消防署職員の負担が考えられるが、その対応は。

▽答　救急救命士の養成研修は長期間を要し、試験合格後も、気管内チューブ・薬剤投与の資格研修や病院実習を重ねて技量を高めていく必要がある。

研修を受けている間は、職員の配置変更や日勤者補充により対応している。

▼問　救急の現場と東海中央病院との連携状況は。

▽答　毎月開催の症例研修会をはじめ、救急救命士の就業前・生涯研修など数多くの病院研修を東海中央病院で実施している。

基幹病院として良好な連携関係を築いている。

▼問　救急搬送件数のうち軽症搬送の割合は。

▽答　過去5年間の平均では、53％である。

▼問　緊急性や程度から判断し、自己通院をお願いする「救急搬送トリアージ」の導入を検討してはどうか。

▽答　社会情勢や病院調整、救急需要などから、今後の課題と考えている。

▼問　消防・救急活動をより迅速かつ的確に指令することができる発信地表示を備えたデジタル指令台へ更新する考えは。

▽答　発信地表示システムの指令台は、119番の通報場所を自動的に検索し、瞬時に災害発生地を地図上に表示でき、災害や規模に対応した消防車や救急車などの出動までの時間を短縮できるメリットがある。

消防力の充実強化には欠かせないものであり、計画的な整備を図っていく。

心肺蘇生訓練を行う救急救命士

ブロック塀の安全対策

▼問　住宅と道路の境にあるコンクリートブロック塀で、劣化が進んだ所があると思うが、調査をしてはどうか。

また、**危険な塀の対策は。**

▽答　調査範囲が広大なため、全体調査は難しい。

今年度も、木造住宅耐震診断の啓発ローラー作戦を行う予定であり、その際に外観目視による調査を考えている。

危険度が高いと思われる所有者に対しては、撤去をお願いしていく。

▼問　接道緑化補助制度に、ブロック塀を取り壊す補助が含まれていることを市民に周知しては。

▽答　ブロック塀を取り壊し、その跡地を緑化する際に、ブロック塀の取り壊しと緑化に対してそれぞれ費用の2分の1、最大10万円の補助金を支給している。

緑化された接道敷地

今後も広報紙などで周知に努めていく。

子ども手当

▼問　子ども手当に関する予算と支給対象者は。

▽答　児童手当費2カ月分と子ども手当費10カ月分、合わせて30億6222万7千円を当初予算で計上している。

支給対象児童数は中学生まで拡大したことから、約2万2600人になる見込みである。

▼問　支給を開始した6月の支給状況は。

▽答　6月11日に第1回目の支払いが完了し、総額7億2241万7千円を支給した。

支給方法は、すべて保護者の指定する金融機関口座への振り込みとしており、支給率は全体の約87％となっている。

東海中央病院の体制充実を
小児科・産婦人科医の確保に努力

▼問　市内で分娩（ぶんべん）可能な産科医院が減少しており、東海中央病院による分娩の再開が望まれている。小児科の充実と分娩再開の見通しは。

▽答　新病院には、最新の分娩室も計画されている。

小児科医・産婦人科医などの確保のため、病院長を中心に鋭意努力されているところである。

▼問　これからの高齢化社会を考えると、心臓や脳を専門とする医師の重要性が高くなるが、東海中央病院の体制は。

▽答　循環器系・脳神経外科の医師については、地域の急性期病院として充足している状況だと考えている。

▼問　医師不足に対する市民の声が強くなれば、東海中央病院に対して要望をするべきではないか。

▽答　今後、三大疾患の患者が増加し、更なる治療体制の強化が必要になれば、市としても要望していく。

▼問　東海中央病院が目指す地域医療連携とは何か。

▽答　院内に設置された地域医療支援センターで、介護施設の紹介、開業医との患者の相互紹介、大型医療機器の共同利用などを行い、地域のかかりつけ医や福祉施設との連携をより密にするものである。

（仮称）各務原大橋

▼問　各務原大橋の全体事業費の内訳は。

▽答　工事費、用地補償費などを精査した結果、全体事業費は136億円から123億円に下方修正となった。

工事費は約88億円のうち、発注済が約41億円、用地補償費は全体で約31億円のうち、約25億円が契約済である。

▼問　各務原大橋に通じる那加・小網線道路工事の整備状況は。

▽答　全体計画延長約2キロメートルのうち、560メートルが完了しており、引き続き工事を行う予定である。

整備中の那加・小網線（稲羽中学校北）

▼問　県道芋島・鵜沼線の拡幅工事の状況は。

▽答　現在、地権者と用地買収の交渉中であり、状況を踏まえて工事に入りたい。

▼問　那加・小網線道路整備予定地の上戸町北側は、現在農用地指定となっている。道路完成までに指定を解除すべきではないか。

▽答　上戸町北部の農地は、土地改良事業が行われた土地で、羽島用水の受益地でもあることから、農用地として扱うべきであると考えている。

▼問　各務原大橋のたもとを市民の憩いの場として整備する考えはないか。

▽答　アプローチ橋の桁下空間を多目的広場とするなど、地元の意見を取り入れながら設計を進めていく。

橋のたもとの河川敷地の整備は、現在河川管理者と協議を進めている。

自殺・うつ病対策

▼問　最近増えている自殺の現状は。

▽答　市内の自殺者数は、16年から20年までの過去5年を見ると、年間30人前後で推移している。

主な自殺原因は、心と身体の健康問題が最も多く、次いで、経済・生活問題となっている。

▼問　自殺原因の一つとしてうつ病も挙げられるが、うつ病の対策はどんなことを行っているのか。

▽答　那加不動丘にある岐阜保健所と連携し、「こころの健康相談」を毎月実施している。

今年度からは、精神保健福祉士による相談も追加し、相談の充実を図っている。

また、4月から東海中央病院と市が連携して子育て教育相談センターを開設し、育児のストレスに関する相談にも応じている。

企業広告による経費削減

雑誌スポンサー制度の導入は

▼問　図書館にある雑誌の表紙に企業名を表示することで、雑誌購入費を企業が負担する「雑誌スポンサー制度」を導入している自治体がある。
　購入費の削減と図書の充実に有効であることから、導入してはどうか。

▽答　図書館に設置している雑誌を増やすことができ、また身近な広告媒体として、地元企業の発展に貢献できる。
　制度を早急に導入し、広くスポンサーを募って、図書の充実を図っていく。

スポンサー名を表示した雑誌(岐南町)

農業政策

▼問　「米戸別所得補償モデル事業」によって、水田農業の経営安定が図られると考えるか。

▽答　交付要件はあるが、10アールあたり1万5000円が定額交付され、農家の収入が増加するため、経営安定につながると期待している。

▼問　「水田利活用自給率向上事業」による麦・大豆・米粉用米などの転作作物の生産への助成により、生産が拡大し、自給率向上につながるのか。

▽答　麦や大豆は困難な状況だが、米粉用や飼料用といった新規需要米を中心に、担い手の意向やJAぎふとの連携により自給率の向上に取り組んでいく。

▼問　農業の担い手となる人材の育成と確保を図るため、認定農業者をどのように支援していくのか。

▽答　国の支援や助成制度を活用しながら、県やJAぎふと連携し、担い手の育成、確保に努める。

▼問　環境に配慮した、ぎふクリーン農業生産登録面積の拡大目標値は。
　また、拡大した農地では何を作るのか。

▽答　生産登録面積20年度末現在、水田と畑で約900ヘクタール登録されており、市内の水田はすべて登録されている。
　26年度末までに、畑で約300ヘクタール拡大し、1200ヘクタールとする計画である。
　現在登録されているニンジン、サトイモ、大根などの登録面積の拡大や、サツマイモ、ジャガイモ、白菜など、新規登録の促進に努めたい。

▼問　利用権設定により、農地の貸し借りができる土地面積(利用集積面積)を約30%増やす目標だが、どこの地域の水田や畑を対象に取り組んでいくのか。

▽答　市内全域において、水田の利用集積を進めていく。
　また、岐阜中流用水によって、高い生産性が見込まれる鵜沼の畑地帯を都市近郊の野菜生産地として、特に重点的に利用集積を図っていく。

かかみがはら航空宇宙科学博物館

▼問　かかみがはら航空宇宙科学博物館の公園的機能を充実させる考えは。

▽答　現在ある芝生広場や遊具を配置した遊びの広場を活かし、来場者の憩いの場となるように、今後は遊具の更新などの施設整備を計画的に進めていく。

▼問　ものづくり分野の専門知識のある人を起用し、生涯学習の場としての充実を図っていく考えは。

▽答　現在も体験学習を実施しており、すでに博物館を拠点として活動している少年少女発明クラブでは、教員OBを中心とした講師が創造性豊かな人づくりを目指し、子どもたちにものづくりを熱心に指導している。
　今後も市民が気軽に利用できる生涯学習の場として、充実に努めていく。

ものづくり指導を受ける子どもたち

▼問　特別支援を要する子どもたちのために人づくり講師を採用しているが、今後増員の予定はあるか。

▽答　学校や子どもたちの状況に応じて、適正な人員配置に努めていく。

の最終決定を行います。

●**常任委員会**…市の仕事を４つに分け、常任委員会を設置し、議会内の審査機関としてそれぞれ専門的に審査や調査をします。

　議員は、いずれかの常任委員会の委員となります。

総務常任委員会…市税、財政、防災、市民相談などの仕事

民生消防常任委員会…高齢者福祉、障がい者福祉、子育て、国保、ごみ、し尿、消防、救急などの仕事

経済教育常任委員会…産業の振興、観光、国際交流、小中学校教育、スポーツ、文化、生涯学習などの仕事

建設水道常任委員会…都市計画、建築、道路、河川、水道、下水道などの仕事

●**議会運営委員会**…会期や議事日程、議案の取り扱いなどについて協議、調整します。

審議から議決までの手順

　市の仕事を進める上で、条例の制定･改正、予算、決算、契約、財産の取得や処分など、地方自治法やその他の法律､条例に定められている案件を議決します。

①議決（決定）までの手順

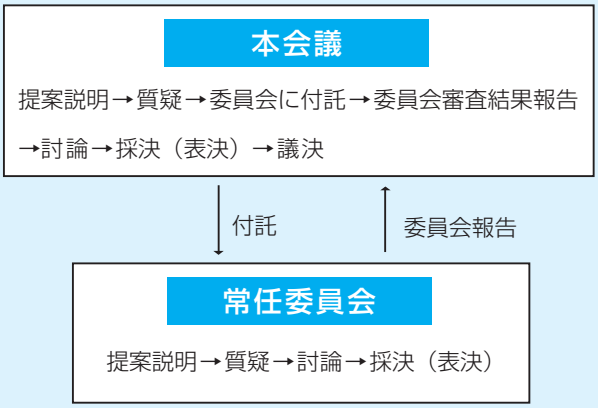
●**提案説明**…議会で議決する案件の提出理由と内容を市長など提出者が説明します。

●**質疑**…議会で議決する案件に対して、議員が不明確な点や疑問点を提出者に聞きます。

●**討論**…議員が賛成か反対の意見を表明します。

●**採決（表決）**…議員が、賛成か反対の意思表示をします。意思表示の方法は、起立による採決、投票による採決などがあります。

●**議決**…個々の議員が、賛成か反対の意思表示をした結果､得られた議会全体の意思決定のことをいいます。通常は出席議員の過半数で決定します。(多数決の原則)



一般質問

　本会議で、市の仕事に対して、議員の考えや住民の意見を代表して提案したり､将来の方針などを市長(執行機関）に聞くことです。

　議員は定例会で質問することができます。

■定例会の会期日数・本会議日数（日）

平成21年1月1日 ～ 12月31日

	第１回定例会		第２回定例会		第３回定例会		第４回定例会		合　計	
	会期日数	本会議日数	会期日数	本会議日数	会期日数	本会議日数	会期日数	本会議日数	会期日数	本会議日数
各務原市	22	4	22	4	26	4	22	4	92	16
人口10～20万人未満の市の平均	26.1	6.2	18.8	5.5	25.5	5.7	18.7	5.5	89.1	22.8

■１常任委員会当たりの開催日数（日）

	全開催日数
各務原市（協議会を含む）	10.75
人口10～20万人未満の市の平均	8.6

■市民傍聴者数（人）

	定例会
各務原市	260
人口10～20万人未満の市の平均	317.3

■本会議インターネット中継実施状況

	生中継	録画配信
中継している市（全国806市中）	204市	250市
	25.3%	31.0%

　各務原市議会では、１定例会当たりの本会議の会議日数は４日間となっています。初日は、議案の提案説明、２・３日目は議案に対する質疑と一般質問、４日目は委員会の審査報告、討論、採決を行います。質問者が多いときは、質問日を増やして５日間とすることがあります。

　定例会の会期のうち、本会議のない日はすべて休会日となりますが、その休会中、議員は議案内容を把握するために調査活動を行ったり、委員会へ出席するなど、本会議以外の日も活動をしています。

　本会議のインターネット中継を実施している市議会は、全国で約30%となっています。

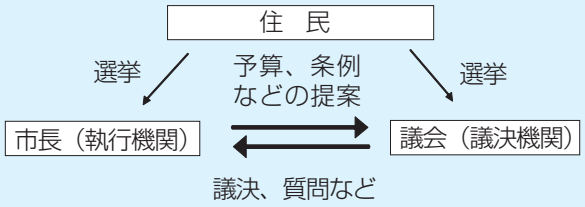
　各務原市議会では、昨年９月から開始していますので、ぜひご利用ください。

(議会中継) http://kakamigahara.gijiroku.com/video/

市議会とは

市議会は、市長、議員から提案される政策や市民生活に関する諸問題について審議し、市政の重要な事柄を決定しています。市長は、市議会の決定に基づいて市政を進めていきます。

市議会を「議決機関」、市長部局を「執行機関」と呼び、市議会と市長は独立・対等の関係に立ち、互いにバランスを保ちながら市政を運営しています。



議員

①定数　26人(法定数34人)※8人減らしています。
②任期　4年(平成21年3月4日～25年3月3日)
③議員になるには　住民の直接選挙により、選ばれます。
被選挙権の要件・資格…選挙権を有する方で年齢満25歳以上の方
④報酬　月額48万5000円
（議長57万円、副議長52万円）
⑤政務調査費　1人当たり月額3万円（会派に支給）
⑥議員の仕事
・住民を代表して、市の仕事を監視しながら、質問や提案をします。(監視権、質問権)
・市の仕事について、実行するか決定します。(議決権)
・地域の問題の調整や相談を受けています。
⑦会派　市政に対して同じ考えや政策などを持つ議員が結成する議会内の集団です。

会派構成（人）

会派名	政和クラブ	民主クラブ	市議会公明党	日本共産党市議団	無会派
	14	4	3	3	2

議長、副議長

本会議で議員の中から選挙で選ばれます。
①議長の仕事…議事の進行、議場内の秩序維持、議会の代表としての仕事をします。
②副議長の仕事…議長のいない時、議長の仕事を代理します。

議会の会議と構成

①定例会と臨時会
定例会は年4回（おおむね3月、6月、9月、12月）開かれます。臨時会は必要に応じて開かれます。
②本会議と委員会
●本会議…議員全員で構成する会議で、質問や議会で

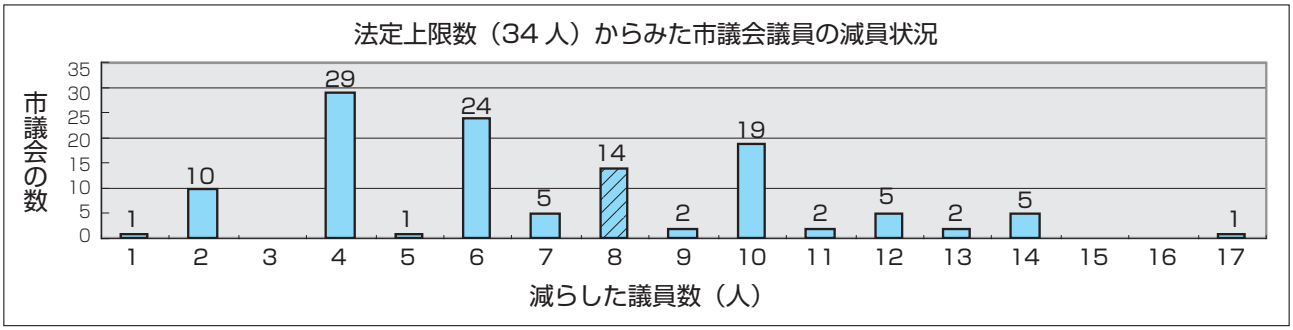
各務原市議会の現状を比較

資料：市議会実態調査（全国市議会議長会）

最近、全国の地方議会で、議員報酬や議員数など議会の活動に関してさまざまな動きがあります。
各務原市議会の議員報酬や議員数は全国的にみてどうか、また、本会議の開催状況や傍聴者数はどうか、自治体の人口規模、面積、財政の状況などで違いはありますが、各務原市議会の現状を全国の同じ規模（人口10～20万人未満）の市議会と比較してみました。

■市議会議員の数

平成21年12月31日現在



市議会議員の定数は、人口区分に応じて地方自治法で上限数が決められており、これを「法定上限数」と呼びます。全国のほとんどの市議会が、条例に基づき、この「法定上限数」から議員定数を減らしています。
各務原市と同じ規模の市議会は、法定上限数34人に区分されており、全国で147市議会あります。そのうち、120市議会が議員定数を減らしており、1市あたりの平均で見ると6.97人減らしている状況です。
各務原市議会は、8人減らして議員定数を26人としています。

■報酬月額

平成21年12月31日現在

	議長	副議長	議員
各務原市	57万円	52万円	48万5000円
人口10～20万人未満の市の平均	56万4400円	50万3500円	46万5300円

全国の同じ規模の市議会の中で、議員報酬の最高月額は62万円、最低月額は31万2千円となっています。

『自治会ボランティア活動に参加して』

市民の声

鵜沼古市場町
榊原　昭年さん

私は、生来、木曽川に慣れ住んだ鵜沼古市場の住人です。

歳月の流れは早いもので、人生の大半を他県下などで奉職し、リタイアしてはや8年目となりました。

奉職中は、地元における地域情報に疎く、自治会付き合いなどは、仕事にかまけておのずと疎遠になりがちになり、近隣住人の皆さんには、ひとかたならず世話になり、迷惑を掛けていたものと痛感する次第です。

その後、自治会役員の末席を担う機会に恵まれ、自治会行政、市の各種団体・機関の活動内容等を少しく理解することができました。

その際における役員仲間は、幸か不幸か、なぜか気が合い退任後もその付き合いは7年来続いています。

そこでは自由闊達な気風の中で、自治会の在り方の一つとして、形骸化された「祭り行事」を活気あるものに復活させようという気運が高まり、20年6月、これに呼応した二十数名でボランティア団体「古市場ふれあい会」が立ち上げられ、参加させてもらいました。

同年7月、夏の祭礼に際し、初回実施行事として、「夏祭り屋台店」を企画し、曲がりなりにも無事開催することができました。

これを契機として、同年8月には、「納涼盆踊り会」も新設された城見公園で挙行するまでになり、その活動は年ごとに充実しつつあります。

特に、昨夏の祭礼に際しては、盛大な賑わいを博し、多くの住人に郷愁の念を抱かせ、いまだ鮮烈に思い出されます。

ことしもこのイベントを通じて三世代住人が協力し合って成し遂げる達成感・連帯感を糧として、自治会の更なる発展と活力ある町づくりに少しでも寄与したいです。

このような行事開催の理念は、自治会というものはそこに住む人たちがお互いの立場を理解・尊重し、積極的に人間関係を良くして行こうとする積み重ねの上に成り立つ組織団体であり、その地域に暮らし、愛着を持つ住民すべてが町づくりの主役でなくてはならないと思うからです。

故に、これまで先人方が大切にはぐくんでこられた伝統ある郷土の祭り行事を誇りとして、私たちがこれを後世に継承していくことにより、生涯心の糧として、あるいは思い出づくりの一助ともなればと願い、これまで自分をはぐくんでくれた地元自治会に少しでも恩返ししたいという気持ちをもって体力の続く限り、微力ながら積極的にこの活動に参加したいです。

また、このような行事の主役は住人であり、その住人らが協力し合い、伝統ある行事を盛り上げることにより、将来を担ってくれる地域の子どもらに思い出と夢を抱かせてやりたいという願いを込め、そして家族揃って集い・楽しみ・憩うことができるコミュニケーションの場を今後も醸成し続けたいです。

6月22日「平和の日」の黙とう

犠牲となられた方々に哀悼の意を表し、黙とうを行いました。

議会素描

▼クールビズ開始月6月。暑さに負けず、よりよい考えを生み出せたか。

▼市税は減収、扶助費は増加。今こそ問われる自治力。熱い討論にクールビズでは追いつかない。

▼議会に関心を持ってもらうために市民の目線を意識し、情報を発信していきたい。

▼サッカーW杯南アフリカ大会で、日本代表は大健闘。

我々議員も市民の皆さまの熱い視線があることを忘れてはならない。

9月議会も頑張ろう。

ご覧になりましたか、議会中継

本会議の様子をインターネット中継（生・録画）しています。

次の定例会は、
9月6日開会予定です。

PRINTED WITH SOY INK
大豆インキを使用しています。